

アレルギー疾患に関する児童施設調査

報告書

平成22年3月



東京都福祉保健局

はじめに

東京都がこれまで実施してきた3歳児のアレルギー疾患全都調査によると、3歳までに何らかのアレルギー疾患の診断を受けた子供は約4割であり、保育所や幼稚園などの施設に通う子供にもアレルギー疾患を持つ子供が多いことが推察されていました。

しかしながら、これら都内の施設に通う子供のアレルギー疾患のり患状況や施設における取組は、必ずしも明らかになっていませんでした。

そこで東京都は、保育所などを対象としたアレルギー疾患に関わる実態調査を初めて実施しました。

この調査では、多くの施設にアレルギー疾患を持つ子供が在籍していることが判明しただけでなく、施設内でのぜん息発作や、アナフィラキシーショックなどへの対応を経験した施設があることが分かりました。

今回明らかになった結果は、今後、アレルギー疾患対策を検討するための貴重な基礎資料として有効に活用してまいります。各区市町村や関係機関の皆様におかれましても、お役立ていただければ幸いです。

終わりに、調査項目や結果のとりまとめなどを御指導いただいた東京都アレルギー性疾患対策検討委員会乳幼児アレルギー疾患調査検討部会の委員の皆様と、調査に御協力いただいた認可保育所、認証保育所、幼稚園、区市町村の関係者に厚くお礼申し上げます。

平成22年3月

東京都福祉保健局健康安全部環境保健課

目次

第1 調査の概要	3
1 調査目的	3
2 調査対象及び方法	3
3 調査期間	3
4 調査項目	3
5 回収状況	4
6 図表の見方	4
7 数の表現	4
8 言葉の表現	4
第2 結果の概要	7
1 開所時間・閉所時間	7
2 アレルギー疾患のり患状況と把握方法	7
(1) アレルギー疾患のり患状況	7
(2) 把握状況	7
3 アレルギー疾患児への配慮や指導状況	9
(1) ぜん息	9
(2) アトピー性皮膚炎	11
(3) アレルギー性鼻炎・結膜炎	12
(4) 食物アレルギー、アナフィラキシー	13
4 ぜん息発作発症時の対応状況	15
(1) 過去1年間のぜん息発作発症時の対応状況	15
(2) ぜん息発作時の対応マニュアル活用状況	16
5 アナフィラキシー発症時の対応状況	17
(1) 過去3年間のアナフィラキシー発症時の対応状況	17
(2) アナフィラキシー発症時の対応マニュアル活用状況	18
6 アレルギー疾患に関する研修への参加状況	19
7 アレルギーに関するニーズ	19
(1) 行政に対する意見・要望	19
(2) 医療機関に対する意見・要望	19
(3) 保護者に対する意見・要望	19
第3 調査結果のまとめ	23
1 アレルギー疾患のり患状況	23
2 アレルギー疾患の把握状況	23
3 配慮が必要なアレルギー疾患を持つ子供の在籍状況	23
4 児童施設における取組状況	23
(1) ぜん息	23
(2) アトピー性皮膚炎	23
(3) アレルギー性鼻炎・結膜炎	24
(4) 食物アレルギー、アナフィラキシー	24
4 アレルギー疾患に関する研修の参加状況と行政への要望	24
5 今後の方向性	25
第4 調査の結果	29
資料(調査票)	63